

コード No. 11071

**Anti-
S100 Protein (2A10) Mouse IgG MoAb**

容量 : 1 mL (500 μ g)

はじめに : S100 Protein は、ウシ脳内蛋白として発見され、中枢神経組織では各種グリア細胞に分布し、末梢神経組織では神経鞘細胞や外套細胞にその局在が認められます。また、神経組織以外にも、軟骨細胞、脂肪細胞、色素細胞、汗腺や乳腺の筋上皮細胞や腺細胞、皮膚の Langerhans 細胞、腎尿細管、リンパ節の interdigitating 細胞など広く認められています。
本抗体は S-100 Protein β 鎖とのみ反応します。ヒトの神経鞘細胞と Langerhans 細胞は β 鎖のみを有しているとの報告があります。

免疫抗原 : Bovine Brain S-100 Protein

起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ
(X63-Ag8.653×BALB/c マウス脾臓細胞、培養上清由来)

クローン名 : 2A10

サブクラス : IgG₁

精製方法 : Protein A による特異精製

包装形態 : 1% BSA, 0.05% NaN₃ 含有 PBS 1.0 ml に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 蒸留水 1.0 ml 添加

保存方法及び : 2 ~ 8°C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20°C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 2~5 μ g/ml にて使用可能

使用方法 (ホルマリン固定・パラフィン切片・SAB 法)

: ウェスタン・ブロットング 2~5 μ g/ml にて使用可能

特異性 : Bovine, Human β 鎖のみと反応